

令和5年度 附属学校研究支援・特色化にかかわる事業実施報告書

事業の名称	附属特別支援学校におけるミドルリーダー育成方法の開発
事業実施代表者名	校長 青山 眞二
実施附属学校園名	附属特別支援学校
事業内容 (実施内容について、500～1,000字以内で記述)	<p><事業の概要> 特別支援学校をはじめ、特別支援学級や通級による指導を受ける児童生徒、通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加している。そうした中で、特別支援学校には、特別支援教育に関する専門的な知見や経験等を有する特別支援学校からの小中高等学校へ支援の充実を図り、センター的機能を発揮していくことが求められている。</p> <p>そこで本事業では、特別支援教育に関する専門性の向上とともに、地域の特別支援教育をコーディネートする資質・能力を育成することを目的とした。</p> <p><事業の方法と実施内容> ①特別支援教育にかかわる地域の現状と動向把握 児童生徒の実態が異なる特別支援学級と単置の高等支援学校の視察（札幌あいの里高等支援学校）の視察を行った。児童生徒の入学前の状況、現在の学習状況、進路についての情報交流を行い、通常の学級に在籍する児童生徒への支援の在り方や特別支援学級の自立活動の指導等について各学校が抱える課題を把握した。</p> <p>②特別支援学校のICT教育にかかわる現状と動向把握 北海道立特別支援教育センターのICT研修講座に参加した。ICTを活用した個別最適な学び、協働的な学びの実践について交流した。また研修内容は、本校の職員向けのICT教育の研修の参考として活用した。</p>
成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)	<p><成果1> ①について 特別支援学級と高等支援学校の視察を通して、それぞれの学校の実態に応じた特別支援学校のセンター的機能に関するニーズを把握することができた。</p> <p>②について 特別支援教育におけるICTを活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践について、実践例を収集できた。また本校職員の校内のICT研修に還元し、スキルを向上することができた。</p> <p><成果2> 地域の通常の学級や特別支援学級の教員を対象とした本校主催の地域教員研修会を企画する際に、成果1-①をもとにテーマや具体的な内容を検討した。</p> <p>地域教員研修では、心理アセスメントの実際や心理アセスメントを活用した指導支援の実際についての研修をコーディネートした。</p> <p>地域教員研修を運営する際に成果1-②で習得したICT研修で学んだツールを活用することで、来校での参加者とZoomでの参加者が十分に意見を交流することができ、「個別最適な学び」「協働的な学び」を体験することができた。</p>

<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>本事業では、特別支援教育に関する専門性の向上とともに、地域の特別支援教育をコーディネートする資質・能力を育成することを目的とした。心理アセスメントとICT活用を本校職員が学びながら専門性を身に付け、その内容を地域の特別支援教育にかかわる教職員に発信していった。学んだことを発信するという方法を通して、本校の職員の地域における特別支援教育をコーディネートする力を育成することができた。</p> <p>地域教員研修会は、3回シリーズでのべ350人を超える参加があったが、本校がある函館や渡島管内の参加者は少なく、学校として地域の特別支援教育を推進するミドルリーダーにはまだまだなり得ていないと考える。特別支援教育の推進が求められる中、本校が地域のミドルリーダーとして貢献していくためには、個人レベルの研修会の開催ではなく教育委員会や各種団体とつながったコーディネートの在り方を検討していく必要がある。</p>
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>	

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。